

## 「リアルな－名詞」と「リアル－名詞」の 互換性

渡 邊 ゆかり

### 1. はじめに

英語の形容詞 ‘real’ から作られた外来語の「リアル」には、「リアルだ」「リアルに」「リアルな」「リアルの」のようにナ形容詞あるいは名詞として使用される場合と、「リアルさ」「リアルすぎる」「青春リアル」「リアル世界」のように複合名詞の語彙素として使用される場合とがある。これらの用法のうち、ナ形容詞の連体形「リアルな－」と複合名詞の前項要素として用いる「リアル－」は、共に後接名詞の意味を限定する機能を有する点で共通している<sup>1</sup>。それゆえ、次の(1)(2)のように「リアルな－名詞」と「リアル－名詞」をほぼ同じ知的意味で用いることが可能な場合も存在する<sup>2</sup>。

- (1) 加えまして、ネット取引という形で非常に資本市場そのものがリアルな世界とバーチャルな世界、その間のリエゾンということ  
で、(福井俊彦発言)
- (2) したがって、リアル世界とサイバー世界の有機的なインター  
フェースが重要になる。(デジタル流通革命)

しかしながら、両者は常に同一の名詞を後接できるわけではない。多くの場合「リアルな気持ち／\*リアル気持ち」「リアルタイム／\*リアルなタイム」のようにいずれか一方の表現が不自然となる。従って、本研究

では、「リアルな－」「リアルー」が作用域とする名詞の語種、語彙素数、意味、ならびに「リアルな－名詞」「リアルー名詞」の互換性と関わる統語的制約の四つの観点から、「リアルな－名詞」と「リアルー名詞」の互換性に影響を及ぼす要因を明らかにする。

本研究においては『現代日本語書き言葉均衡コーパス』(略称 BCCWJ)から検索ツール中納言<sup>3</sup>を用いて収集した「リアルな－名詞」「リアルー名詞」の表現例に対して分析を行った。

次の2節では、本分析結果の提示に先立ち、先に挙げた分析観点と関わりの深い先行研究を紹介する。

## 2. 先行研究

1節で述べたように、本研究の目的は、「リアルな－名詞」「リアルー名詞」の互換性に働く要因を先に示した四つの観点から明らかにすることである。

これらの観点のうち、一つ目の「リアルな－」「リアルー」が作用域とする名詞の語種と関わる分析には野村(1984)が存在する。野村は、文部省『学術用語集』中の『機械工学編』(1955)を対象に、二つの語彙素からなる複合名詞がどのような品詞ならびに語種の語彙素から成立しているかを調査している(cf. 野村の表4)。この調査結果の中には「A－N(ナ形容詞語幹－名詞)」型の複合名詞においてAが外来語の場合のNの語種別出現数を示した部分があり、Nの語種別出現数は、和語が2例、漢語が0例、外来語が20例となっている。すなわち、Aが外来語の場合、Nも外来語であることが多いという結果となっている。後に見るように「リアルー名詞」を対象とした本研究の調査においても同様の傾向が示された。

次に三つ目の観点にあたる「リアルな－」「リアルー」が作用域とする名詞の意味と関わる言及には木原(1956)が存在する。木原は「赤と

んぼ／赤いとんぼ」「黒船／黒い船」「長靴／長い靴」「細帯／細い帯」といった例を挙げ、「連体形から連る方は、その名詞の意味の範囲内の限定であるが、複合名詞の方は、別の一種類を形成する (p. 5)」としている。名詞句と複合名詞との相違に関するこの種の指摘は、すでに多くの研究者によりなされており、この点からすれば「リアルな－名詞」「リアル－名詞」は本来互換性の無い表現として扱うべきものということになる。

確かに、「リアル－名詞」は「リアルな－名詞」に比べ意味的合成性が低い、すなわち特殊性が高い傾向にある。しかし、「リアルな－」「リアル－」が共に作用域とする名詞の意味を限定している点では両者に相違はない。また、「リアル－名詞」の中には「リアルな－名詞」と同程度に意味的合成性の高いものも存在する。さらに、「リアルな－名詞」から「リアル－名詞」への置換に関しては、比較的「リアル－名詞」の形でも現れやすいものからそうでないものまで連続している。

従って、本稿では、「リアルな－」から「リアル－」への置換ならびに「リアル－」から「リアルな－」への置換を妨げたり、容易にしたりしている要因について、「リアルな－」「リアル－」が作用域とする名詞の意味という観点からも分析を試みる。

最後に、四つ目の観点にあたる「リアルな－名詞」「リアル－名詞」の互換性と関わる統語的制約と関連する分析には影山 (1993) が存在する。影山は、典型的な語に備わっている特徴の一つとして「形態的な緊密性」を挙げ、さらにこの「形態的な緊密性」を示す特徴の一つとして「外部からの修飾の禁止」を挙げている。これは、「語の一部を外部から修飾することはできない (p. 11)」という制約である。この制約は、本研究対象の「リアル－名詞」にも働いており、次の (3) が示すように、「リアルな－」の前にこれを意味限定する語を置くことは可能であるが、「リアル－」の前にこれを意味限定する語を置くことは不可能である。

- (3) a. そうしたフィクションではなく、きわめてリアルなイメージの映像に期待したいのである。
- b. \*そうしたフィクションではなく、きわめてリアルイメージの映像に期待したいのである。

しかしながら、「リアルな－名詞」「リアル－名詞」の互換性と関わる統語的制約にはこれとは異なるものも存在する。これらについては、7節で取り上げる。

以上、本節では、本研究の分析観点と関わる先行研究を見てきた。

次の3節では、「リアルな－」「リアル－」の作用域に働く統語的制約を示しながら、本分析対象となる「リアルな－名詞」「リアル－名詞」の位置付けを明確にする。

### 3. 「リアルな－」「リアル－」の作用域に働く統語的制約

「リアルな－」「リアル－」には、後接する要素の意味を限定するという共通機能が存在する。しかしながら、これらを構成要素とする言語単位は異なり、「リアルな－」は複数の文節からなる名詞句の構成要素として現れ、「リアル－」は複合名詞の構成要素として現れる。このため、各々の作用域には異なる統語的制約が働いている。

まず、「リアルな－」は可能であるが「リアル－」は不可能な作用域として、複数の文節からなる名詞句を挙げることができる。例えば、「リアルな－」は次の(4a)(4c)のような「連体修飾語－名詞」という構造の名詞句や(5a)のような並立構造の名詞句を作用域とすることができるが、「リアル－」は(4b)(4d)(5b)のように、これらを作用域とすることができない。

- (4) a. リアルな [ハイビジョンの映像] が人々の注目を集めている。

- b. \*リアル [ハイビジョンの映像] が人々の注目を集めている。
  - c. リアルな [美しい映像] が人々の注目を集めている。
  - d. \*リアル [美しい映像] が人々の注目を集めている。
- (5) a. 近年では、以前に増してリアルな [サウンドやイメージ] の伝達が可能となった。
- b. \*近年では、以前に増してリアル [サウンドやイメージ] の伝達が可能となった。

このような「リアルな－」のみ作用域とすることが可能な複数の文節からなる名詞句は、語としての資格を持たないので、「リアルな－複数の文節からなる名詞句」は、本研究の分析対象から除外する。

一方、「リアル－」は可能であるが「リアルな－」は不可能な作用域としては、接辞を挙げることができる。例えば、次の(6)(7)のように、「リアル－」は「感」「さ」といった接辞を後接することが可能であるが、「リアルな－」は不可能である。

- (6) 彼の演技で、作品の {リアル－感 / \*リアルな－感} がいっそう増した。
- (7) この作品は、 {リアル－さ / \*リアルな－さ} に欠けている。

このような「リアル－」のみ作用域とすることが可能な接辞も、語としての資格を持たないので、「リアル－接辞」は、本研究の分析対象から除外する。

この他、「リアルな－」の作用域と「リアル－」の作用域の相違点として、「リアルな－」は次の(8)のように作用域の終結部が格成分の終結部と一致する傾向にあるが、「リアル－」は(9b)のように作用域の終結部が格成分の終結部の内側にあることも少なくないことが挙げられる。

格成分の終結部

- (8) [リアルな- [サーフ- アイテム]] をノンサーフな銘柄からチョイスしたことで, (Boon 2003年4月)

格成分の終結部

- (9) a. こうして [リアル- [美- 少女]] と会っていれば心が満たされ, (女王様と私)

格成分の終結部

- b. 「[[リアル- ブラック]- タイプ]」(¥四万九千八百) もある。(ARMS MAGAZINE 2003年4月)

「リアルな-」の作用域の終結部が格成分の終結部と一致する傾向にあるのは、「リアルな-」の作用域に、影山の言う「外部からの修飾の禁止」すなわち語の一部分を外部から修飾することができないという制約が働いていることに起因する<sup>4</sup>。一方、「リアル-」は、元々語の外部ではなく内部に位置するのでこのような制約は存在しない。本研究においては、「リアル-」の作用域が(9a)のように格成分の終結部と一致するもののみならず、(9b)のように格成分の終結部の内側にあるものも分析対象とする。

以上、本節では、「リアルな-」「リアル-」の作用域に働く統語的制約を示しながら、本研究の分析対象となる「リアルな-名詞」「リアル-名詞」の位置づけを明確にした。次の4節からは、BCCWJから収集した表現例のうち、本節で示した基準に合致する「リアルな-名詞」「リアル-名詞」に対して、1節で示した4つの観点から分析を行っていく。

#### 4. 「リアルな-」「リアル-」が作用域とする名詞の語種

ここでは、「リアルな-」と「リアル-」とで、作用域とする名詞の語種に異なる傾向性が見られるか否かを分析する。

本分析対象は、BCCWJ から中納言の短単位検索を用いて収集した、「リアルな-名詞」と「リアル-名詞」の用例である。本検索に際しては、次の表1の条件を指定した。

表1 「リアルな-名詞」「リアル-名詞」の検索条件

	リアルな-名詞	リアル-名詞	
キー	出現書記形が「リアル」	語彙素が「リアル」	語彙素が「リアル」
後方共起条件1	出現書記形が「な」	品詞の大分類が「名詞」	語彙素が「・」
後方共起条件2	品詞の大分類が「名詞」		

その結果、「リアルな-名詞」については230件の検索結果が得られた。しかし、このうち2例は、「リアルな-」が、形態素ではなく「マテリアルな-」という単純語の語形の一部に相当していたので、分析対象から除外した。

また、残る228例のうち、11例は、「リアルな-」が「名詞-の-名詞」「名詞-や-名詞」「名詞-と-名詞」といった複数の文節からなる名詞句を作用域としていた。3節で述べたように、このような作用域は語としての資格を持たないので、「リアルな-」と複数の文節からなる名詞句が結合した言語単位は、分析対象から除外した。

さらに、残る217例のうち、1例は、「リアルな-」が次の(10)のように「名詞句-が-リアルな」という連体修飾節の述部として用いられていたため、これも分析対象から除外した。

(10) [MSX 実機の絵-が-リアルな] エントリー画面。

(MSX magazine)

この他、残る216例中には、「リアルな-」に「超-」「ハイパー-」「ア

ン-」といった接頭辞が前接するものが3例存在した。このような程度性を表す接頭辞は、「リアル-」の接頭辞としても使用可能であるので、本調査では、これらの接頭辞を伴う「リアルな-」も「リアルな-」と同等のものとして扱った。

これら216例の「リアルな-名詞」について、「リアルな-」の作用域に当たる名詞の異なり数、延べ数とそれぞれの割合、ならびに多様性を表す指標の一つである GUIRAUD 値<sup>5</sup>を、語種別に調べたところ、結果は次の表2の通りであった。

表2 語種別に見た「リアルな-」が作用域とする名詞の出現数

	和 語	漢 語	外来語	和 漢 混 淆 語	漢 外 混 淆 語	全 体
異なり数	34	78	26	7	7	152
異なり数の割合 (%)	22.37	51.32	17.11	4.61	4.61	100.00
延べ数	66	102	29	12	7	216
延べ数の割合 (%)	30.56	47.22	13.43	5.56	3.24	100.00
GUIRAUD 値	4.19	7.72	4.83	2.02	2.65	10.34

表2より、「リアルな-」が作用域とする名詞の出現数は、異なり数、延べ数のいずれも、漢語が最も多く、続いて和語、外来語の順に多い。また、多様性を表す指標の一つにあたる GUIRAUD 値は、漢語が最も高い。

一方、「リアル-名詞」については、881件の検索結果が得られた。しかし、このうち、27例は、「リアル」の部分が‘Real’ ‘REAL’と原語で表記されていた。「リアルな-名詞」の用例中にはこのような原語表記は存在しなかったため、このような原語表記の例は除外することとした。

また、残る854例中には、次の(11)(12)のように「リアル」が前項要素と直接結び付くものが3例存在したので、これらも本調査対象から除外した。



(11) しっかり安全を確保したうえで、娯捨ての [バーチャル-リアル] 体験ができるというか、[ばーちゃん-リアル] 体験というか、ははは、そういうわけですね。 (娯捨てバス)

(12) この表裏一体が実現することで、[バーチャル-と-リアル] 双方が成長すると思われる。 (デジタル流通革命)

(11) の二つの「リアル」は、それぞれ、「バーチャル-」「ばーちゃん-」と結合しており<sup>6</sup>、また、(12) の「リアル」は、「バーチャル-と」と結合している。

さらに、残る851例のうち5例は、「リアル」が単純語の語形の一部に相当するものであったので、これらも分析対象から除外した<sup>7</sup>。

またさらに、残る846例のうち、3例は次の(13)のように「リアル」が副詞として用いられており、1例は(14)のように、影山・柴谷(1989)の言う統語的複合語の構成要素として用いられており<sup>8</sup>、2例は「リアル」の後が「…」で終わっていた。

(13) フレームコンボイ「そこで、このカニをどう料理するか。」  
ロックバスター「(え、ひょっとしてリアル蟹だと思ってる…?)」 (Yahoo! ブログ)

(14) リアル中心でないと、こつこつと確実に前進すること (Yahoo! ブログ)

(14) の「リアル中心」は「リアルが中心」という統語構造にパラフレーズできる。副詞の「リアル」は、複合名詞の構成要素ではないので分析対象から除外し、(14) の、「中心」に対して主格としての役割を持つ「リアル」や「…」が続く「リアル」も、作用域の意味を限定する働きを持たないので分析対象から除外した。

残る840例の中には、接尾辞「-感」「-ティー」が付加されたものが

8例存在した。3節で述べたように、これらの接辞は語としての資格を持たないので、「リアルー」とこれらの接辞が結合した言語単位は、分析対象から除外した。

さらに、残る832例の中には、「リアルー」が商品名や企業名などの固有名詞の構成要素として用いられているものが74例存在し、次の(15)のように用語の意味を問う文脈中で用いられ、固有名詞か否かが不明なものが2例存在した。

(15) リアルマッコイってどういう意味ですか？

(Yahoo! 知恵袋2005)

固有名詞は、本質的に個や個に帰属する特定のものに与えられた記号であり、固有名詞中の「リアルー」は、名付けの由来に言及する場合を除き、後接要素の意を限定する機能を持たない。従って、固有名詞ならびに固有名詞か否かが不明な例は分析対象から除外した。

この他、残る756例中には「リアルー」に「超ー」「スーパーー」といった接頭辞が前接するものも2例存在したが、これらは「リアルなー」の接頭辞としても使用可能であるので、これらを伴う「リアルー」は「リアルー」と同等のものとして扱った。

こうして最終的に調査対象として残った756例の「リアルー」の作用域にあたる名詞の異なり数、延べ数とそれぞれの割合、ならびに多様性を表す指標の一つである GUIRAUD 値を、語種別に調べたところ、結果は、次の表3の通りであった。

表3 語種別に見た「リアルー」が作用域とする名詞の出現数

	和語	漢語	外来語	和漢 混淆語	漢外 混淆語	全体
異なり数	8	24	56	1	1	90

異なり数の割合 (%)	8.99	25.84	62.92	1.12	1.12	100.00
延べ数	10	39	705	1	1	756
延べ数の割合 (%)	1.32	5.16	93.25	0.13	0.13	100.00
GUIRAUD 値	2.53	3.84	2.11	1.00	1.00	3.27

表3より、語種別に見た「リアル-」が作用域とする名詞の出現数は、異なり数、延べ数のいずれも、外来語が最も多く、続いて漢語、和語の順に多い。外来語の延べ数の割合が、93.25%と極めて高い原因として、「リアル-タイム」という要素の数が587と全体の77.65%を占めていることが考えられることから、この値を除いた場合の延べ数についても調べたところ、結果は、次の表4の通りであった。

表4 語種別に見た「リアル-」が作用域とする名詞（タイムを除く）の出現数

	和語	漢語	外来語	和漢 混淆語	漢外 混淆語	全体
延べ数	10	39	118	1	1	169
延べ数の割合 (%)	5.92	23.08	69.82	0.59	0.59	100.00
GUIRAUD 値	2.53	3.84	5.06	1.00	1.00	6.85

各語種の延べ数の割合は、「リアル-タイム」を含めるか否かで大きく変わるものの、依然として外来語の占める割合が最も高く、続いて漢語、和語という順に高い。従って、「リアルな-名詞」と「リアル-名詞」を比較すると、総じて「リアルな-」は和語、漢語の名詞を作用域とする傾向にあるのに対し、「リアル-」は外来語を作用域とする傾向にあるといえる。また、「リアル-」が作用域とする名詞の多様性についても、「リアル-タイム」を含めた場合には、表3に示すように漢語の GUIRAUD 値が最も高いが、「リアル-タイム」を含めない場合は、外来語の GUIRAUD 値が5.06と最も高くなる。

最後に、語種に関係なく「リアルな-」「リアル-」が作用域とする名

詞の多様性を比較すると、「リアルな-名詞」の GUIRAUD 値は10.34, 「リアル-名詞」の GUIRAUD 値は「リアル-タイム」を含めた時が3.27, 「リアル-タイム」を含めない時が6.85であった。従って, 「リアル-タイム」を含めるか否かに関わらず, 「リアル-」より「リアルな-」の方が, 作用域とする名詞が多様であるといえることができる。

### 5. 「リアルな-」「リアル-」が作用域とする名詞の語彙素数

「リアルな-」「リアル-」は, 共に一つ以上の語彙素からなる複合名詞を作用域とすることが可能である。ここでは, 両者において作用域とする名詞の語彙素数に異なる傾向性が見られるか否かについて分析する。なお, 本分析においては, 中納言の検索結果において示される語彙素の単位で語彙素数をカウントする<sup>9</sup>。

まず, 「リアルな-」「リアル-」が作用域とする異なり名詞群の平均語彙素数を調べたところ以下の表5のようであった。

表5 「リアルな-」「リアル-」が作用域とする異なり名詞群の平均語彙素数

	和 語	漢 語	外来語	和 漢 混淆語	漢 外 混淆語	全 体
リアルな-	1.06	1.37	1.19	3.00	1.43	1.35
リアル-	1.00	1.25	1.11	1.00	2.00	1.14

「リアルな-」と「リアル-」とで作用域とする異なり名詞群の平均語彙素数（全体）に有意な差が認められるか否かを調べるためにT検定を行ったところ,  $P=0.003$  ( $<0.05$ ) で統計的な有意差が認められた。

次に, 「リアルな-」「リアル-」が作用域とする異なり名詞群について, 二つ以上の語彙素からなる名詞が含まれる割合を調べたところ, 「リアルな-」が152例中42例で27.63%, 「リアル-」が90例中11例で12.22%であった。両者の割合に有意な差が認められるか否かを調べるた

めに  $\chi^2$  乗検定を行ったところ、 $P=0.005$  ( $<0.05$ ) で統計的な有意差が認められた。

従って、これら二つの調査結果より、「リアルな-」「リアル-」共に、一つの語彙素からなる名詞を作用域とする傾向が強いものの、「リアルな-」の方が「リアル-」より複数の語彙素からなる名詞を作用域とする確率が高いということが言える。

## 6. 「リアルな-」「リアル-」が作用域とする名詞の意味

### 6.1. 「リアルな-」「リアル-」の意味領域

ここでは、「リアルな-」「リアル-」が作用域とする名詞の意味に何らかの相違が見られるか否かについて分析する。

本分析においては、まず、認知意味論的観点から、BCCWJ 中の「リアルな-名詞」「リアル-名詞」における「リアルな-」「リアル-」の意を、「本質」「様相」「帰属世界」「帰属時間」の四つのドメインに分類し、さらにドメイン別にベースとプロファイルという観点から細分類を行った。その結果、以下の表6の意味領域が確認された。なお、表中の囲みで示された部分は、プロファイルの部分に相当する。

表6 「リアルな-」「リアル-」の意味領域

ドメイン		ベースとプロファイル
1. 本 質	1.1	偽の, 格の劣る vs. <span style="border: 1px solid black;">本物の, 本格的な</span>
	1.2	加工された vs. <span style="border: 1px solid black;">本来の</span>
	1.3	理想, 理論に焦点を当てた vs. <span style="border: 1px solid black;">現実, 実践に焦点を当てた</span>
2. 様 相	2.1	実物, 実態からかけ離れている, 實在感に乏しい vs. <span style="border: 1px solid black;">実物, 実態に迫る, 實在感の強い</span>
	2.2	差し迫っていない vs. <span style="border: 1px solid black;">差し迫っている</span>
	2.3	実体のない vs. <span style="border: 1px solid black;">実体のある</span>

3. 帰属世界	3.1	虚構世界における vs. <span style="border: 1px solid black;">現実世界における</span>
	3.2	サイバー世界における vs. <span style="border: 1px solid black;">現実世界における</span>
4. 帰属時間	4.1	現在と一致しない vs. <span style="border: 1px solid black;">現在と一致する</span>
	4.2	リアルタイム（即時的）でない vs. <span style="border: 1px solid black;">リアルタイム（即時的）の</span>

表6に示した意味領域を表す「リアルな-」「リアル-」は、具体的には、次の表7のような名詞を作用域としていた。なお、表中の (*Weblio*) は、web上の *Weblio* という辞書に、カタカナ語化される以前の原語が見出し語として登録されていたことを表す。また、(*OED*) も、online上で利用できる *Oxford English Dictionary* にカタカナ語化される以前の原語が見出し語として登録されていたことを表す。

表7 Yahoo! ブログ, Yahoo 知恵袋を除く BCCWJ 中の「リアルな-名詞」「リアル-名詞」

	「リアルな-」が作用域とする名詞	「リアル-」が作用域とする名詞
1.1	<p>《外来語》 サーファイテム, ディースクエアード, HIPHOP スタイル</p> <p>《漢語》 意義, 一致, 鑑賞眼, 現場, 宗教的意義, 進行形, 接点, 存在, 体験世界, 対象, 日本語</p> <p>《和語》 今, 話, 魂, もの</p> <p>《混種語》 気持ち, 並列型 LAM</p>	<p>《外来語》 インターネット, カーボン, クロコ, サーフ, サーファー, スポーツ, ヒップホップスタイル, ファー, ファイト, ブラック, モカシン, ユースカルチャー, レザー</p> <p>《漢語》 志向, 指向, 頭身, 夫婦本番</p> <p>《混種語》 通学スタイル</p>
1.2	<p>《漢語》 魅力</p> <p>《和語》 暮らし, 姿</p>	<p>《外来語》 モード (<i>Weblio</i>)</p>
1.3	<p>《外来語》 コーデイナー, スタイル</p>	<p>《外来語》 クローズ (<i>Weblio</i>), シューレ</p>

	<p>《漢語》 視線, 日常, 認識</p> <p>《和語》 もの</p>	<p>(<i>OED</i>), スタイル, ポリティク (<i>OED</i>, <i>Weblio</i>)</p>
2.1	<p>《外来語》 SF, イメージ, ゲーム, CG, シーン, シャークティース, シューティング, ストーリー, タッチ, ドラマ, プロバック, ペダリング, ヘッド, ムーヴ, レポート, ルックス</p> <p>《漢語》 印象, 外観, 感覚, 官能表現, 記憶, 狂気, 幻想性, 現代小説, 現場感覚, 効果音, 合成映像, 作品, 殺陣, 刺激, 精密世界, 世界, 事実, 質感, 実態, 質問, 情景描写, 状態, 情報, 人物像, 性民族, 捜査官像, 設定, 体験 記, 蝶, 彫刻, 人間描写, 筆致, 表現, 描写, 風景, ほう, 模型, 歴史小説</p> <p>《和語》 動き, 歌, 絵柄, かたち, 恋物 語, 声, 子供, 死神, 出来, 出 来栄え, 中, 花, 話, ヒョウ柄, もの, 物, 物語, 夢</p> <p>《混種語》 エンジン音, 画像データ, 感じ, 3D インテリア空間, 仕上がり, 本音</p>	<p>《外来語》 イメージ, イラスト, エンター テメント, サウンド, タイプ, ドキュメント, ビュー (<i>Weblio</i>), フィギュア</p> <p>《漢語》 映像, 体験, 体験談, 描写</p> <p>《和語》 話</p>
2.2		<p>《外来語》 クライム</p>
2.3	<p>《漢語》 現実社会, 物質</p>	
3.1	<p>《漢語》 人生, 世界</p>	<p>《外来語》 ライフ (<i>OED</i>, <i>Weblio</i>), ランド,</p>

	《和語》 ことがら, できごと, もの	《外来語》 ライフ ( <i>OED</i> , <i>Weblio</i> ), ランド, マナー ( <i>OED</i> ), ワールド ( <i>OED</i> , <i>Weblio</i> ) 《漢語》 画像, 市場, 世界, 美少女
3.2	《外来語》 イベント, ショッピング 《和語》 場, もの	《外来語》 イベント 《漢語》 空間, 商店, 店舗
4.1		《外来語》 タイム ( <i>OED</i> , <i>Weblio</i> )
4.2	《混種語》 労働集約的サービス	《外来語》 オッズ, ネットワークシステム

表7より, 「1. 本質」「2. 様相」「3. 帰属世界」「4. 帰属時間」のいずれの領域にも「リアルな-名詞」「リアル-名詞」の語例が存在し, 「リアルな-」「リアル-」の意味領域に大きな相違は存在しないことがわかる。

## 6.2. 語種別に見た「リアルな-名詞」「リアル-名詞」の互換性

次に, 「リアルな-」「リアル-」が作用域とする名詞の意味に着目しながら, 語種別に, 両者の互換性について考察を行った。

### 〈作用域が外来語の場合〉

まず, 作用域が外来語の場合に着目すると, 表7中の「リアルな-外来語」は, すべて「リアル-外来語」に置き換えられるのに対し, 表7中の「リアル-外来語」の中には, 「リアルな-外来語」に置き換えることが難しいものが含まれている。

具体的に示すと, 表7の「リアル-外来語」にはカタカナ語化される以前の原語が *Weblio* と *OED* に熟語として登録されている語が存在するが, このような, 原語において‘real-名詞’の形をとる熟語がカタカナ



外来語化したと考えられる「リアル-外来語」は、「リアルな-外来語」に置き換えることが難しい (ex.\*「リアルな-シュレー」, \*「リアルな-タイム」)。これは、このような語の意義が特殊化しており、相対的に意味的合成性が低いためと考えられる。

また、表7の1.1類の「リアル-外来語」には、「リアル-クロコ」「リアル-ファー」のように「リアルな-外来語」の「な」が簡略化により脱落したというよりは、製品の素材のタイプを表すものとして商品メーカーや販売業者が作り出したと考えられるものがいくつか含まれている。これらの「リアル-外来語」も「リアルな-外来語」に置き換えることが難しい。仮に置換すると、「リアルな-外来語」は表7の2.1類としての解釈を受けやすくなる。すなわち「リアルな-クロコ」「リアルな-ファー」は「リアルな-フェイククロコ」「リアルな-フェイクファー」といった解釈を受けやすくなる。

#### 〈作用域が漢語の場合〉

次に、作用域が漢語のものに着目すると、「ほう」は、句や節を受けて使用する形式名詞に相当するため、次の(16)が示すように「リアルな-名詞」から「リアル-名詞」への置換は不可能である。

(16) リアルな-ほう → \*リアル-ほう

しかしながら、これ以外の表7中の「リアルな-漢語」については、「リアル-漢語」への置換性に程度差が生じていることが推測されるものの、母語直感だけでは、その差は捉え難く、差の原因を特定することはできなかった。

一方、表7中の「リアル-漢語」は、表7の1.1類にある「リアル-志向/指向」を除き、「リアルな-漢語」に置換することが可能であった。「リアル-志向/指向」については複合名詞内部の意味構造は「リ

アルに対する「志向／指向」であって、作用域とする名詞に対する意味限定の仕方がナ形容詞連体形と異なるので「リアルな－志向／指向」への置換が難しいものと考えられる。

以上の分析をまとめると、作用域が漢語の場合、慣用的用法を除けば、表7中の「リアル－漢語」から「リアルな－漢語」への置換は可能であるが、「リアルな－漢語」から「リアル－漢語」への置換については、漢語の種類により差があるといえることができる。このことは、作用域とする名詞が漢語の場合、優先的なあるいは基本的な形は、「リアルな－漢語」であるが、何らかの要因により「リアル－漢語」として現れるものも存在することを示唆している。然らば、その要因とはどのようなものなのであろうか。

この要因が何であるかを調べるためには、まずどのような「リアルな－漢語」が「リアル－漢語」としても現れやすいのかを特定する必要がある。

従って、次に、表7に挙げた漢語のうち、語彙素数が一つのものに限定し、Web上において「リアルな－漢語」「リアル－漢語」のいずれの形で現れやすいかを調べた。

調査の方法は次の表8の通りである。

表8 「リアルな－漢語」「リアル－漢語」を含む Web ページの検索方法 1

検索日時	2012年5月20日（日）21時00分～22時30分
検索端末	自宅のパソコン
検索エンジン	Yahoo! Japan
検索ドメイン	co.jp
検索キー	以下の四つの検索フレーズにあるXに、表7中の一つの語彙素からなる漢語を一つずつ入れ完全一致検索を行い、検索結果数（類似ページを除く）を調べる。 “のリアルなXが” “のリアルなXを” “のリアルXが” “のリアルXを”

次の表9は、本調査の結果である。なお、①から④までの合計の値が100件以上のXはゴシック体で示した。また、⑥の値は、「リアル-漢語」としての現れやすさを示している。

表9 「リアルな-漢語」「リアル-漢語」を含む Web ページの検索結果 1

X	① のリアル なXが	② のリアル なXを	③ のリアル Xが	④ のリアル Xを	⑤ ①+②+ ③+④	⑥ (③+④)÷ ⑤
物質	0	0	0	0	0	—
商店	0	0	0	0	0	—
意義	0	0	0	0	0	—
一致	0	0	0	0	0	—
指向	0	0	25	7	32	100%
志向	0	0	21	12	33	100%
市場	0	0	0	1	1	100%
店舗	2	3	93	111	209	98%
映像	72	55	52	215	394	68%
画像	16	43	47	48	154	62%
殺陣	0	1	0	1	2	50%
視線	4	1	5	0	10	50%
世界	25	63	7	44	139	37%
体験	47	91	35	34	207	33%
設定	8	8	5	1	22	27%
情報	81	366	78	71	596	25%
蝶	7	0	0	2	9	22%
空間	11	18	0	8	37	22%
人生	14	16	7	0	37	19%
描写	112	38	23	10	183	18%
模型	38	47	6	10	101	16%
作品	12	16	3	2	33	15%

風景	6	17	0	4	27	15%
感覚	40	60	7	7	114	12%
記憶	13	8	1	1	23	9%
外観	2	14	0	1	17	6%
表現	50	64	6	1	121	6%
日常	67	377	11	15	470	6%
実態	53	111	0	9	173	5%
現場	46	71	0	1	118	1%
事実	2	4	0	0	6	0%
印象	4	4	0	0	8	0%
存在	0	2	0	0	2	0%
対象	0	1	0	0	1	0%
認識	31	4	0	0	35	0%
刺激	5	2	0	0	7	0%
筆致	2	0	0	0	2	0%
質問	1	2	0	0	3	0%
狂気	0	1	0	0	1	0%
状態	3	15	0	0	18	0%
彫刻	3	3	0	0	6	0%
質感	124	101	0	0	225	0%
魅力	19	26	0	0	45	0%
ほう	7	0	0	0	7	0%

次に、表9において⑤が100件以上であった、「店舗、映像、画像、世界、体験、情報、描写、模型、感覚、表現、日常、実態、現場、質感」の14語について、表10のような方法で、co.jpドメイン指定をした場合と、指定をしなかった場合の「リアル-漢語」の出現率を調査した。

表10 「リアルな-漢語」「リアル-漢語」を含む Web ページの検索方法 2

検索日時	2012年 8月24日 (金) 13時40分～14時20分	2012年 8月24日 (金) 13時00分～13時40分
検索端末	自宅のパソコン	自宅のパソコン
検索エンジン	Yahoo! Japan	Yahoo! Japan
検索ドメイン	co.jp	ドメイン指定なし
検索キー	以下八つの検索フレーズにあるXに、表7中の一つの語彙素からなる漢語を一つずつ入れ完全一致検索を行い、検索結果数(類似ページを除く)を調べる。 “のリアルなXが” “のリアルなXを” “のリアルなXに” “のリアルなXで” “のリアルXが” “のリアルXを” “のリアルXに” “のリアルXで”	

次の表11は、本調査結果である。

表11 「リアルな-漢語」「リアル-漢語」を含む Web ページの検索結果 2

co.jp ドメイン				ドメイン指定なし			
X	リアルな X	リアル X	「リアル X」率	X	リアルな X	リアル X	「リアル X」率
店舗	44	1,011	96%	店舗	105	1,812	95%
画像	88	133	60%	体験	798	626	44%
体験	162	187	54%	模型	213	157	42%
映像	206	188	48%	情報	1,140	793	41%
世界	180	103	36%	画像	609	302	33%
情報	457	165	27%	映像	1,061	477	31%
模型	106	22	17%	世界	1,067	451	30%
描写	335	59	15%	感覚	584	108	16%
感覚	145	16	10%	描写	1,248	209	14%
表現	241	18	7%	表現	827	118	12%
日常	442	25	5%	日常	975	124	11%
実態	185	7	4%	現場	685	64	9%

現場	169	6	3%	実態	663	20	3%
質感	314	0	0%	質感	1,100	1	0%

表11より、第一に「店舗」は、ドメイン指定の有無に関わらず「リアル-漢語」という形での出現率が95%以上となっており、このような形での使用が定着していることがわかる。「リアル店舗」は、ネットショッピングの普及とともに浸透してきた語であり、この語は現実世界に存在する店舗とインターネット上の店舗を区別する目的で、主にネット上で使用されている。このように特定の分野・業界において、同一カテゴリーに属する別の何かと区別する必要性から作られたと考えられる「リアル-名詞」は、作用域となる名詞の語種に関係なく、「リアル-名詞」としての使用が優位になる傾向がある。外来語のところで見た「リアルファー」「リアルクロコ」が、「リアルなファー」「リアルなクロコ」に置き換えることが難しいのもこのためである。

第二に、「描写」「感覚」「表現」「日常」「実態」「現場」「質感」の7語は、ドメイン指定の有無に関わらず、出現率が20%未満であり、「リアルな-名詞」の方が一般的であることがわかる。中でも、「実」「現」「質」といった英語の‘real’あるいは外来語としての「リアル」の意義と極めて近い意義を持つ漢字が前項に現れる「実態」「現場」「質感」は、「リアル-名詞」としての出現率がかなり低い。

第三に、ドメイン指定の有無に関わらず、20%以上の語と20%未満の語を比較すると、「ア.『画像』『映像』『情報』といった情報処理技術と関わる語」「イ.『店舗』『世界』といったweb上のものと現実社会のものが対照されることのある語」「ウ.『体験』『世界』といった『実-名詞』という表現が定着している語」は、20%未満に含まれていないことがわかる。

これらのうち、まず、アの「リアル-漢語」としての出現率が20%以上である理由について考える。今や我々の生活空間に不可欠となったイ

インターネット上では、「画像」「映像」「情報」の伝達を介して、人と人、コミュニティとコミュニティが繋がっている。そして、これらの伝達においては、常に臨場感、即時性といったリアリティが追及されてきた。すなわち、リアリティのある「画像」「映像」「情報」、リアルタイムの「画像」「映像」「情報」は、情報処理技術を駆使したインターネットの世界において、その存在価値と密接に関わる重要概念を表している。従って、「リアル画像」「リアル映像」「リアル情報」といった語は、情報処理技術の分野やインターネットの世界における重要概念を表すものとして現れ、広く浸透していったのではないかと考えられる。

次に、イの「リアル-漢語」としての出現率が20%以上である理由についてであるが、「リアル店舗」については、先に述べたように、特定の分野・業界において、同一カテゴリにある別の何かと区別する必要性から作られたことが出現率の高さと結び付いている。また、「リアル世界」についても、インターネットの世界で浸透してきた「サイバー世界」「バーチャル世界」といった語の対義語として浸透しつつあるのではないかと考えられる。さらに、「リアル世界」は、次に述べるウの「実-漢語」という同義語が存在するタイプにも属しており、このことも「リアル世界」という表現の浸透度に関与しているものと考えられる。

最後に、ウの「リアル-漢語」としての出現率が20%以上である理由についてであるが、「実-漢語」の「実」の意が知的意味のレベルで「リアル」の意義の一つと同じであることから「実」を「リアル」に置き換えた「リアル-漢語」も比較的許容されやすいのではないかと考えられる。

以上、「リアル-漢語」としての出現率が20%以上の語と20%未満の語について主に意味的観点から比較してきた。「リアル-漢語」としての出現率が20%以上の語群と20%未満の語群は、**co.jp** ドメインを指定して検索した場合とドメイン指定をしないで検索した場合とで、「リアル模型」を除き一致していた。「リアル模型」の出現率は、**co.jp** ドメインでは17%

だが、ドメイン指定なしでは42%であり、co.jp ドメインの場合とドメイン指定なしの場合とで25ポイントの差が存在した。検索ドメインによる出現率の差が何に起因するかは、現段階では特定できないが、ドメイン指定なしの場合の、「リアル模型」の出現率が42%であることから、これまでの考察より、この表現がある特定の分野・業界で浸透していることが示唆される。実際に、どのような分野・業界で使用されているのかを、ページの更新日を1カ月に指定して調べてみたところ、玩具と関わる分野、建築と関わる分野で多用されていた。従って、「リアル模型」の出現率の高さの背景には、「リアル画像」「リアル映像」「リアル情報」などと同じく、特定の分野・世界を中心に、その分野・世界の重要概念を表す語として浸透してきた可能性が考えられる。

以上、「リアルな-漢語」「リアル-漢語」の互換性について、「リアルな-」「リアル-」が作用域とする漢語の意味という観点から考察してきた。その結果、特定の分野・世界におけるカテゴリーとしての必要性・重要性が、特に「リアル-名詞」としての出現率に関与していることが明らかとなった。

次に、作用域が和語のものについて見ていく。

#### 〈作用域が和語の場合〉

「リアルな-和語」は、全般的に「リアル-和語」に置換すると、不自然となる傾向にあるが、最も不自然さが際立つものとしては以下の(17)が挙げられる。

(17) リアルな-中(なか) → \*リアル-中(なか)

これは、「中(なか)」が、(16)で挙げた「ほう」と同様、「忙しい中」「台風が接近している中」のように句や節を受ける形式名詞として用いられることに起因する。また、次のような抽象名詞を作用域とする「リ



リアルな-和語」も「リアル-和語」に置換するとかなり不自然である。

- (18) a. リアルな-場 → \*リアル-場  
 b. リアルな-ことがら → \*リアル-ことがら  
 c. リアルな-できごと → \*リアル-できごと  
 d. リアルな-動き → \*リアル-動き  
 e. リアルな-かたち → \*リアル-かたち

「場(ば)」「ことがら」「できごと」「動き」「かたち」は、「中(なか)」ほど独立性は低くないものの、「中(なか)」と同様、意味的抽象度が高く、句や節を伴って用いられることが多い。「リアル-名詞」へ置換した場合の不自然さには、このように名詞の形式性の度合いも関与していると考えられる。なお、これらと同様抽象度の高い「もの」を作用域とする「リアルなもの」については「リアルもの」という形も存在する。ただし、この「リアルもの」における「もの」は映画やドラマなどの「作品」という具体的な事物を表しているので、「リアルなもの」における抽象名詞の「もの」とは異なる。

以上、本節では、「リアルな-名詞」「リアル-名詞」の互換性について、「リアルな-」「リアル-」が作用域とする名詞の意味という観点から分析を行ってきた。次の7節では、統語的な観点から「リアルな-名詞」「リアル-名詞」の互換性について分析する。

## 7. 「リアルな-名詞」「リアル-名詞」の互換性と 関わる統語的制約

「リアルな-名詞」「リアル-名詞」の互換性と関わる統語的制約を挙げると、まず、2節の(3)で示したように、程度を表す副詞は「リアルな-名詞」に前置し、「リアルな」を意味限定することは可能であるが、

「リアルー名詞」に前置し、「リアル」を意味限定することはできない。

次に、ナ形容詞連体形は、次の(19a)(20a)のように「リアルー名詞」に前置し、「リアルー名詞」全体を修飾することができるが、「リアルなー名詞」に前置し、「リアルなー名詞」全体を修飾しようとするとやや不自然になる。

(19) a. 途中でG地区を出したのは、ただの悲惨なリアル話になるのをふせぎたかったんだよね。 (文芸2002年1号)

b. ?途中でG地区を出したのは、ただの悲惨なリアルな話になるのをふせぎたかったんだよね。

(20) a. そうしたフィクションではなく、シャープなリアルイメージの映像に期待したいのである。

(外国テレビフィルム盛衰史)

b. ?そうしたフィクションではなく、シャープなリアルなイメージの映像に期待したいのである。

さらに、固定化された副詞的表現として用いられる「リアルなー話」は、次の(21)のように、「リアルー話」に置換することはできない。

(21) a. リアルな話, プロフェットで下るより3倍くらい楽しいです (Yahoo! ブログ)

b. \*リアル話, プロフェットで下るより3倍くらい楽しいです

最後に、3節で述べたように、「リアルなー」は一部の例外を除き、後接する複合名詞の一部の要素を意味限定することはできないが、「リアルー」は、後接する複合名詞の一部を意味限定することも可能であるし、複合名詞全体を意味限定することも可能である。そのため、「リアルー」に複合名詞が後接する場合は、意味の限定範囲が曖昧になる可能性もあ

る。例えば、「リアル職場体験」という複合名詞の場合、「リアルな職場体験」すなわち、本当に職場で働いているような真に迫る職場体験を表しているのか、「仮想の職場ではなく本物の職場の体験」を表しているのか、文脈に頼らなければ特定できない。

従って、このような曖昧性を回避するためには、複合名詞全体を意味限定する場合は、「リアルな－」を使用し、複合名詞の一部を修飾する場合は、「リアル職場の体験」のように、助詞を介入して複合名詞の意味的結合を断ち切る必要がある。

## 8. お わ り に

本稿では、「リアルな－」「リアルー」が作用域とする名詞の語種、語彙素数、意味、ならびに「リアルな－名詞」「リアルー名詞」の互換性と関わる統語的制約の四つの観点から、「リアルな－名詞」と「リアルー名詞」の互換性について分析してきた。その結果、これら四つは、いずれも、「リアルな－名詞」と「リアルー名詞」の互換性と関わっていることが確認された。また、特に、意味的な観点からは、特定の分野・世界におけるカテゴリーとしての必要性・重要性が、「リアルー漢語」としての出現率に大きく関与していることが明らかとなった。本調査では明らかにできなかったが、このことは、恐らく「リアルー和語」としての出現率にも該当するものと推察される。しかしながら、ブログなどでは「リアル出所（しゅっしょ）」「リアル子育て」といった臨時的な「リアルー漢語」「リアルー和語」の使用も認められる。従って、「リアルー漢語」「リアルー和語」としての出現に関与する要因としては、内容の私的性も少なからず影響しているのではないかと考えられる。この問題については、今後の課題としたい。

付記：本稿は、2012年8月19日に名古屋大学にて行われた日本語教育国

際研究大会での口頭発表の内容に基づいている。発表の折には、司会の三上京子先生をはじめ来場された方から貴重なご意見を賜りました。この場を借りて感謝の意を表します。

#### 注

- 1 奥津 (1975) は、これと関連して「複合名詞の構造を構文論から考えるということは、連体修飾構造の『凝縮』として複合名詞をとらえるということである (p. 22)」「第1次複合名詞は、2つの単純語からなる連体修飾構造と対応する (p. 22)」と述べている。
- 2 用例中の下線は、稿者による。以降の用例における下線も稿者によるものである。
- 3 『現代日本語書き言葉均衡コーパス』(Balanced Corpus of Contemporary Written Japanese, 略称 BCCWJ) は、大学共同利用研究機関法人人間文化研究機構国立国語研究所が構築した現代日本語のコーパスで、「中納言」は、このコーパスをオンラインで検索するツールである。
- 4 しかしながら、影山 (1993) が指摘するように「外部からの修飾の禁止」は、絶対的なものではない。次のような例外も存在する。このような例外についての分析は影山を参照されたい。
  - (i) a. 小麦色の美肌作り (広告)
  - b. 敬愛していた名バイオリニストフランチェニの墓参りをし、…(新聞)  
(影山 p. 332の (17a) と (17b))
- 5 多様性を表す指標の一つで延べ数を異なり数の平方根で割った値に相当する。
- 6 「ばあちゃんリアル体験」における「ばあちゃん」には、「ばあちゃん」と「バーチャル」の二つの意味が含まれており、「ばあちゃんの+ [[バーチャル-リアル]-体験]」という意味構造にあると考えられる。従って、「リアル」は、一次的には「バーチャル」の意を表す「ばあちゃん」と結合していると考えられなくもないので、分析対象から除外した。
- 7 「リアルトー (1)」(rialto, 映画館の名前), 「エアリアル (2)」(aerial, 空中の), 「サングリアル (1)」(sangreal, 聖杯), 「アーティリアル (1)」(arterial, 動脈の) がこれに当たる。
- 8 影山・柴谷 (1989) は、生成文法理論の観点から、語彙的複合語は語彙部門で形成され、統語的複合語は統語部門で形成されると考えている。
- 9 中納言の検索結果で表示される語彙素の単位は、形態素解析辞書 UniDic の短単位認定の規定に基づいている。

#### 参考文献

- 奥津敬一郎 (1975) 「複合名詞の生成文法」国語学会編『国語学』101 pp. 48-33  
影山太郎 (1980) 『日英比較 語彙の構造』松柏社

- 影山太郎 (1989) 「形態論・語形成論」崎山 理編『講座日本語と日本語教育11：言語学要説(上)』明治書院 pp. 60-92
- 影山太郎・柴谷方良 (1989) 「モジュール文法の語形成論—『の』名詞句からの複合語形成—」久野 暲・柴谷方良(編)『日本語学の新展開』くろしお出版 pp. 139-166
- 影山太郎 (1993) 『文法と語形成』ひつじ書房
- 木原 茂 (1956) 「複合名詞の意味」解釈学会編『解釈』2-2 pp. 4-6
- 長嶋善郎 (1980) 「語形成の比較」国広哲弥編『日英語比較講座第1巻：音声と形態』大修館書店 pp. 235-285
- 竝木崇康 (1985) 『語形成』大修館書店
- 野村雅昭 (1984) 「語種と造語力」『日本語学』9月号 明治書院 pp. 40-54
- ゆもとしょうなん (1977) 「あわせ名詞の意味記述をめぐって」東京外国語大学編『東京外国語大論集』27 pp. 31-46
- 渡邊ゆかり (2012a) 「外来語『リアルな』『リアルに』の語義の変遷」広島女学院大学大学院言語文化研究科編『広島女学院大学大学院言語文化論叢』15 pp. 47-82
- 渡邊ゆかり (2012b) 「『リアル』を構成要素とする複合名詞の語彙の特徴」広島女学院大学文学部日本語日本文学科編『広島女学院大学日本文学』22 pp. 1-32

## 用例の出典

〈国会会議録〉

福井俊彦発言 (2006) 2月23日, 第164回国会, 参議院財政金融委員会4号

〈書籍〉

- 市山俊治ほか (1999) 『電子図書館が見えてきた』NEC クリエイティブ
- 乾 直明 (1990) 『外国テレビフィルム盛衰史』晶文社
- 歌野晶午 (2005) 『女王様と私』角川書店
- 青木輝夫ほか (1997) 『デジタル流通革命—「消費者主導時代」をどう勝ち抜くか—』ダイヤモンド社
- 鹿島田真希ほか (2002) 『文藝』2002年1号, 河出書房新社
- 原 宏一 (1998) 『姥捨てバス』ベネッセ

〈雑誌〉

- アスキー書籍編集部 (2002) 『MSX magazine』永久保存版, アスキー
- ホビージャパンアームズマガジン編集部 (2003) 『ARMS MAGAZINE (アームズ・マガジン)』2003年4号, ホビージャパン
- Yamada, Tsuyoshi (2003) 『Boon (ブーン)』2003年4号, 祥伝社